

令和7年度の運営委員会意見集約

〈組合員・利用者の声を聞く活動〉

J Aでは、地区運営委員会を2月4日から営農経済センターごとに6会場で開催しました。2月17日には総合運営委員会を開催し、多くの意見や要望をいただきました。今回は、各地区運営委員会と総合運営委員会でも出された質問や意見、要望を紹介します。

声は、国や県に届けていきます。

地区運営委員会・総合運営委員会での
主な意見・要望

◎営農・畜産部門関連

Q 米の価格が上がり、生産費に近づいてきたが、米の集荷実績が予約対比89%となり、約5万袋減少した。事業の中で、米の占める割合は多いが、集荷数量が減少した要因は何か。

A 当J A管内でも県境に近いところに他業者が多く入ってきていました。J Aとして、何とか集荷につなげたいと、大口の生産者を訪問し、新しい精算方式などを推進しましたが、結果に結び付きませんでした。

Q 稲の刈り取り時期に入ったと周知があり、適期に刈り取り作業を行っても、カントリーエレベーターが利用できない。

A 天候により全国的に刈り取り時期を早めるよう周知していますが、カントリーエレベーターを稼働するにあたり、機械のメンテナンスに時間を要し、対応が遅れが生じました。今後、計画的に利用できるように改善し運営していきます。

Q 消費税が0%になった際、事前に対策を講じるよう国への要望をお願いしたい。

A 農畜産物を生産するにあたり、消費税が0%になったら大変だという声が寄せられています。この

◎信用・共済部門関連

Q 稲刈りが終わった後にコンバインを購入したが、制度資金を利用することができなかった。

A 制度資金には国の審査があり、要項に沿った申し込みが条件となっています。このような場合は、農機ローン等のご利用をお勧めしています。

Q 移動金融店舗車の利用状況が分からない。キャッシュカードは使えるのか。

A 現在、管内8カ所を訪問しており、1回あたりの平均利用者数は9・6人となっています。ATMは搭載していませんが、キャッシュカードでの取引は可能です。

◎経済部門関連

Q J Aとしてデジタル化を進めてほしい。資材購入の待ち時間や大量の冊子など無駄だと感じる。

A 組合員に対してスマホ注文システムを検討しています。他県の事例がありますが、普及率や費用対効果を検討すると実現に至っていません。

Q 農機センターが、再編により東部と西部で1つずつになる。サービス向上とあるが、広域をカバーするのにどのようにサービス向上を図っていくのか。

A 千厩営農経済センターと花泉営農経済センター

に農機専任職員を配置して対応していきます。出張サービスについては、今まで通り対応してまいります。

◎経営・総務・管理部門関連

Q 遊休施設の活用方法について、固定資産をどのようにしていくのか。

A 貸してほしいとの問い合わせもあります。各地域のニーズに応えられるよう対応してまいります。

◎その他の主な意見・要望

● 第4次中期経営計画の最終年度であるが、どう考えているのか。次の3カ年計画は誰にでも分かりやすいようにしてほしい。

● 営農相談会を夜間に開催してほしい。日中の開催だと70世帯の集落で10人ほどしか集まらない。例えば稲刈り時期には夜間開催し、その地域に合った作付けのアドバイスをするなど、J Aの集会に来てもらうための工夫をした方がよい。

● 遊休施設を、必要であれば改修し、会議室などに使用するなど活用できるようにしてほしい。

皆さまの声を真摯に受け止め、今後のJ A運営に努めてまいります。今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。